

# 第7回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

期 日 令和3年6月9日(水)

時 間 午後1時00分～3時00分

場 所 鶴岡市役所 別棟2号館  
21、22、23号会議室

## 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告・協議

(1) 事務局説明

鶴岡市地域医療市民アンケートの実施概要について

事務局 鶴岡市 地域包括ケア推進室

(2) 講 話

アンケート調査実施のポイントについて

慶應義塾大学 環境情報学部 教授

鶴岡市地域医療を考える市民委員会 コーディネーター

秋山 美紀 氏

(3) 協 議

鶴岡市地域医療市民プレアンケートの実施について

4 そ の 他

5 閉 会

## 第7回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 名簿

(敬称略)

NO	組織等	役職	氏名	備考
1	からだ館 にこにこ倶楽部		北風 寸美	
2	元鶴岡市私立幼稚園・認定こども園連合会保護者会		木村 博之	
3	元鶴岡市立荘内病院 ボランティア		佐藤 明美	
4	鶴岡市公立保育園保護者会連絡協議会	会長	佐藤 和広	欠席
5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	代表取締役	瀬尾 利加子	
6	元朝日地域保健委員会		土田 三香子	
7	関根いきいき体操講座	代表	原田 藤四郎	
8	もみじが丘	施設長	本間 志保子	
9	山形県看護協会		本間 優子	
10	つるおかオレンジサポートの会	代表	真島 正博	
11	鶴岡市介護保険事業者連絡協議会 居宅支援事業者部会	幹事	水口 英俊	

### コーディネーター

慶応義塾大学 環境情報学部	教授	秋山 美紀	オンライン参加
---------------	----	-------	---------

### オブザーバー

鶴岡地区医師会	会長	福原 晶子	
鶴岡地区歯科医師会	副会長	迎田 健	欠席
鶴岡地区薬剤師会	会長	鈴木 千晴	欠席
鶴岡市立荘内病院	病院事業管理者	八木 実	
鶴岡市立荘内病院	院長	鈴木 聡	

鶴岡市	市長	皆川 治	
-----	----	------	--

第7回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

オンライン出席  
秋山美紀 コーディネーター

座席表

日時: 令和3年6月9日(水)  
13:00~15:00  
場所: 鶴岡市役所 別棟2号館  
21、22、23号会議室

スクリーン

瀬尾委員長

○

パソコン

入口

北風 寸美  
委員

○  
○  
○  
○  
○  
○

木村 博之  
委員

佐藤 明美  
委員

土田 三香子  
委員

原田 藤四郎  
委員

福原 晶子  
鶴岡地区医師会長

zoom  
ビデオカメラ

本間 志保子  
委員

○  
○  
○  
○  
○  
○

本間 優子  
委員

真島 正博  
委員

水口 英俊  
委員

八木 実  
荘内病院附院事業管理者

鈴木 聡  
荘内病院 院長

○ ○  
佐藤正 佐藤清一  
室主 地域推進  
室主 地域推進  
長 推進  
室主 推進

○ ○  
渡邊 健 皆川 治  
社健 市  
部康 長  
長福

○ ○  
佐藤 豊 今野一夫  
部院 荘内  
部長 事務 部長  
事務 部長

○  
三浦 巧  
室主 地域推進  
室主 地域推進

○ ○  
伊藤 健 齋藤 芳  
室主 地域推進  
室主 地域推進  
員 推進  
員 推進

○ ○  
土田信一 富樫清  
療兼医 荘内  
主連地 事務 院  
幹携地 課 院  
室医 室 院

報道関係者席

傍聴席

受付

入口

鶴岡市地域医療市民アクション設計図(案)

【前回・第6回市民委員会資料より】



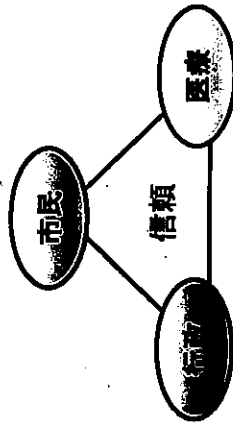
・・・10年後の鶴岡市の“地域医療の未来像”・・・

くところ通い合う地域医療

市民と医療者が信頼し合い、適切な医療が受けられている

く地域の基幹病院たる荘内病院

荘内病院が市民に信頼され、その使命を果たしている



年度	実施内容	実施目的	実施の方向性
R3年度	プレアンケートの実施	R4の一般市民へのアンケート調査実施に向け、アンケート調査項目の精査を目的として、試験的に実施(実施期間:7月中、8月に結果をまとめ、次回、第8回市民委員会に提示)	市民委員が所属する団体の構成員にアンケート調査を実施する。グループホーム等も活用する。 R3年度調査結果の山形市地域医療市民アクションプレアンケートに反対する
R4年度	意識調査の実施	市民が鶴岡市の地域医療について、普段どのよう <sup>に</sup> に利用し、どのよう <sup>に</sup> に思っているかの現状や課題を把握する	R6の実施したプレアンケートの結果を検証し、アンケート項目を精査したうえで、一般市民(約2,000人程度)を対象とした調査を実施する。
R4年度～R6年度	市民勉強会の開催	地域医療について、市民より正しく理解してもらうことを目的として開催	プレアンケートや意識調査の結果を踏まえ、市民に周知が不足している項目を抽出し、市民勉強会のテーマとする
R7年度	理解度調査の実施	3年間、市民勉強会を開催した結果、市民の理解度が向上したかどうかについて、再度アンケート調査を行う	・R4の意識調査と同じ条件でアンケート調査を行う ・R4の意識調査と比べ、理解度が低いテーマについて引き続き市民勉強会を開催する
R7～9年度	市民勉強会の開催	地域医療の仕組みや個々の役割、制度を理解している市民が増え、かつ医療従事者とのコミュニケーションの輪を広げていくことを目的に開催	地域医療のよき理解者を増やす 医療従事者の参加を促進する 継続して参加する来し方を得る仕組みづくり 地域医療市民応援団の結成
R10年度	満足度調査の実施	市民委員会を設立して10年が経過する中で、市民の地域医療に対する満足度が向上してたかどうかのアンケート調査を行う	R4の意識調査と同じ条件でアンケート調査を行う 「鶴岡市地域医療市民アクションプラン」実施評価を行う

## 鶴岡市の地域医療に関するアンケート

### 《 アンケートへのご協力をお願い 》

平素より本市保健・福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
本アンケート調査は、市民の皆さまに鶴岡市の地域医療について、普段どのように利用し、どのように思っているかなどの率直なご意見をいただき、地域医療の現状や課題を把握するとともに、地域医療のあるべき姿を一緒に考えていくことを目的に実施するものです。

ご多忙のこととは存じますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますよう、何卒よろしくお願いいたします。

### 《 ご回答にあたってのお願い 》

- ①ご回答が難しい設問については、空欄のまま進めてください。
- ②本アンケートは無記名方式です。アンケート用紙等にお名前やご住所をご記入いただく必要はございません。
- ③ご回答いただきました内容については、今年度に策定を予定しております地域医療を守るために市民ができることを掲げる「鶴岡市地域医療市民アクションプラン（仮称）」策定の基礎データとして活用させていただきます。
- ④アンケート結果については、来年度以降に開催を予定しております地域医療市民勉強会等でも報告させていただきます。

回答期限：令和3年 月 日（ ）

### アンケート調査についてのお問合せ先

#### ＜鶴岡市地域医療を考える市民委員会 事務局＞

鶴岡市役所 健康福祉部 地域包括ケア推進室  
〒997-8601 鶴岡市馬場町9-25  
電話：0235-25-2111（内線705、707）  
Fax：0235-29-5658  
メール：houkatsukea@city.tsuruoka.yamagata.jp

## 1. 回答者ご自身のことについて

問1 あなた（受診者）の年齢を教えてください。（1つに○）

（受診者がアンケートを記載できない場合は、保護者等が代筆してください。）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 0～6歳    | 2. 7～15歳   | 3. 16～19歳  |
| 4. 20～29歳  | 5. 30～39歳  | 6. 40～49歳  |
| 7. 50～59歳  | 8. 60～69歳  | 9. 70～79歳  |
| 10. 80～89歳 | 11. 90～99歳 | 12. 100歳以上 |

問2 あなたの性別を教えてください。（1つに○）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。（1つに○）

- |                |                  |         |         |         |
|----------------|------------------|---------|---------|---------|
| 1. 旧鶴岡市1学区～6学区 | 2. 旧鶴岡市1学区～6学区以外 |         |         |         |
| 3. 藤島地域        | 4. 羽黒地域          | 5. 櫛引地域 | 6. 朝日地域 | 7. 温海地域 |

問4 いまの地域には何年間お住まいでしょうか。（1つに○）

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満       | 2. 5年以上10年未満  |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上40年未満 | 6. 40年以上50年未満 |
| 7. 50年以上      |               |

問5 あなたの世帯での位置づけ（1.または2.に○）と、あなたを含めた世帯人数をご記入ください。

- |        |          |                 |
|--------|----------|-----------------|
| 1. 世帯主 | 2. 世帯主以外 | 世帯人員（        ）人 |
|--------|----------|-----------------|

問6 どなたと同居していますか。（当てはまるもの全てに○）

- |                  |                  |        |          |
|------------------|------------------|--------|----------|
| 1. 1人暮らし         | 2. 配偶者またはそれに準ずる者 | 3. 子ども |          |
| 4. 孫             | 5. 親             | 6. 祖父母 | 8. 兄弟・姉妹 |
| 9. その他（        ） |                  |        |          |

問7 あなたの健康保険の種類は次のどれですか。（1つに○）

- |           |                    |           |
|-----------|--------------------|-----------|
| 1. 健康保険組合 | 2. 協会けんぽ(全国健康保険協会) | 3. 国民健康保険 |
| 4. 共済組合   | 5. 後期高齢者           | 6. わからない  |

問8 あなたの職業を教えてください。(1つに○) 厚生労働省 職業分類表より

1. 管理的職業
2. 専門的・技術的職業
3. 事務的職業
4. 販売の職業
5. サービスの職業
6. 保安の職業
7. 農林農業の職業
8. 生産工程の職業
9. 輸送・機械運転の職業
10. 建設・採掘の職業
11. 運搬・清掃・包装等の職業
12. 無職
13. その他 ( )

## 2. 日常の外来受診について

問9 日常的な医療（風邪や悪寒、怪我、気分の落ち込み、関節痛、持病等）を受ける場所について、あなたの希望を教えてください。(1つに○)

1. 自宅まで往診してほしい
2. 住み慣れた地域で受診したい
3. 市内の総合病院で受診したい
4. 市外の高度な医療が期待できる医療機関で受診したい
5. 実際の症状によってそのとき考える
6. 特に希望はない
7. その他 ( )

問10 あなたは、最近1年間に一般外来（通常の診察時間内での診察）を受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった

5ページ  
問17へ

問11 問10で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間でどの地域の医療機関を最もよく利用しましたか。(1つに○)

1. 旧鶴岡市1学区～6学区
2. 旧鶴岡市1学区～6学区以外
3. 旧町村地域（藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海）
4. 酒田市
5. 三川町
6. 庄内町
7. 遊佐町
8. 山形県内(庄内地域以外)
9. 県外 ( )

問12 問10で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、その医療機関を選んだ理由を教えてください。(3つまで○)

1. 以前からよく知っている
2. 評判が良い
3. 自宅から近い
4. 職場や学校に近い
5. 休日に対応してくれる
6. 早朝・夜間も対応してくれる
7. 総合病院なので
8. かかりつけ医のいる機関なので
9. 他に医療機関が無かった
10. 特に理由はない
11. その他 ( )

問13 問10で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、その医療機関への交通手段を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 徒歩                     | 2. 自転車                 |
| 3. バイク                    | 4. シニアカー(電動カート)        |
| 5. 自分で運転する自家用車            | 6. 家族等の運転する自家用車        |
| 7. 路線バス                   | 8. 福祉有償運送サービス          |
| 9. タクシー                   | 10. 乗合タクシー(デマンドタクシーなど) |
| 11. 介護タクシー(ヘルパーによる乗降介助など) | 12. JR                 |
| 13. その他( )                |                        |

問14 問10で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、自宅又は職場のうち近い方からその医療機関への所要時間を教えてください。(1つに○)

- |               |               |          |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 10分未満      | 2. 10分以上30分未満 |          |
| 3. 30分以上1時間未満 | 4. 1時間以上2時間未満 | 5. 2時間以上 |

問15 問10で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、満足している点を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 交通の便           | 2. 診察日              |
| 3. 診察時間           | 4. 待ち時間             |
| 5. 医師の知識や技術       | 6. 医師の態度・対話         |
| 7. 看護師の態度・対話      | 8. 病気や治療に関する説明      |
| 9. 専門の医師や医療機関への紹介 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 自宅まで往診してくれること | 12. 受付や窓口の対応        |
| 13. その他( )        |                     |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

問16 問10で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、改善してほしい点を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 交通の便           | 2. 診察日              |
| 3. 診察時間           | 4. 待ち時間             |
| 5. 医師の知識や技術       | 6. 医師の態度・対話         |
| 7. 看護師の態度・対話      | 8. 病気や治療に関する説明      |
| 9. 専門の医師や医療機関への紹介 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 自宅での往診の実施     | 12. 受付や窓口の対応        |
| 13. その他( )        |                     |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

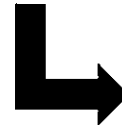


### 3. 入院について

問17 あなたは、最近1年間に入院しましたか。(1つに○)

1. 入院した

2. 入院しなかった



6ページ  
問22へ

問18 問17で「1. 入院した」を選んだ方にお聞きします。  
どの医療機関に入院しましたか。最近1年間に数回入院された場合は、1  
回目の入院について記入ください。(1つに○)

1. 鶴岡市立荘内病院
2. 日本海総合病院
3. 鶴岡協立病院
4. 庄内地域のその他の医療機関
5. 山形県内の医療機関(庄内地域以外)
6. 県外の医療機関( )

問19 問17で「1. 入院した」を選んだ方にお聞きします。  
入院した医療機関を選んだ理由は何ですか。最近1年間に数回入院された場合  
は、1回目の入院について記入ください。(3つまで○)

1. 入院以前から通院していたので
2. 他医療機関から紹介されたので
3. 自宅が近いので
4. 親戚の家が近いので
5. 勤務先・学校が近いので
6. 救急搬送先だったので
7. 医療技術の評判が良いので
8. 病院スタッフの対応が良いので
9. その他( )

問20 問17で「1. 入院した」を選んだ方にお聞きします。  
入院した医療機関で満足した点は何ですか。最近1年間に数回入院された  
場合は、1回目の入院について記入ください。(3つまで○)

1. 入院手続きのスムーズさ
2. 入院の期間
3. 病気や治療についての説明
4. 医師の知識や技術
5. 医師の態度・対話
6. 看護師の態度・対話
7. その他のスタッフの態度・対話
8. 専門の医師・医療機関との連携
9. セカンドオピニオンの受けやすさ
10. 入院中の食事
11. 病室
12. 退院手続きのスムーズさ
13. 退院後の生活や通院の支援
14. 特になかった
15. その他( )

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

問21 問17で「1. 入院した」を選んだ方にお聞きします。

入院した医療機関で不満だった点は何ですか。最近1年間に数回入院された場合は、1回目の入院について記入ください。(3つまで○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 入院手続きについて      | 2. 入院の期間が長すぎた       |
| 3. 入院の期間が短すぎた     | 4. 病気や治療についての説明     |
| 5. 医師の知識や技術       | 6. 医師の態度・対話         |
| 7. 看護師の態度・対話      | 8. その他のスタッフの態度・対話   |
| 9. 専門の医師・医療機関との連携 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 入院中の食事        | 12. 病室              |
| 13. 退院手続きについて     | 14. 退院後の生活や通院の支援    |
| 15. 特になかった        | 16. その他 ( )         |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

#### 4. 地域医療の市民への理解と普及

問22 現在の鶴岡市の医療に関する総合的な満足度を教えてください。(1つに○)

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足    | 3. やや不満  |
| 4. とても不満 | 5. どちらでもない | 6. わからない |

問23 問22で回答した満足度について、その理由を教えてください。(自由記載)


問24 近い将来(約10年後)の鶴岡市の医療について、あなたのお気持ちを教えてください。(1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 全く心配していない | 2. あまり心配していない |
| 3. どちらとも言えない | 4. 不安である      |
| 5. 非常に不安である  | 6. わからない      |

問25 問24で「4. 不安である」「5. 非常に不安である」を選んだ方にお聞きします。将来の鶴岡市の医療について、何が不安ですか。  
(3つまで○)

1. 医療機関への交通手段
2. 急病時にすぐ診てくれる医師がいるか
3. 重い病気をしたときに診てくれる医師がいるか
4. 近隣の医療機関が廃業・撤退してしまわないか
5. 分娩施設が少ないため、安心して出産ができない
6. 子どもが適切な医療を受けられるか
7. 医療従事者が高齢化しており、地域医療が維持できないのではないか
8. 自身が希望する場所で最期を迎えられないのではないか
9. はっきりとは分からないが、不安を感じる
10. その他 ( )

問26 鶴岡市の医療について、今後どのような対策を充実させるべきと思いますか。(1つに○)

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. かかりつけ医や診療所の機能 | 2. 救急医療     |
| 3. 医師・看護師の確保     | 4. 医療介護連携体制 |
| 5. 患者の家族に対するサポート | 6. 災害医療     |
| 7. 小児医療          | 8. 在宅医療     |
| 9. 産科医療          |             |
| 10. その他 ( )      |             |

問27 鶴岡市の地域医療に関して何を望み、どのようなことを期待するか、ご記入ください。


問28 地域医療に関するホームページやSNS（ソーシャルメディア）等の情報を閲覧したことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

1. facebook
2. 市広報・ホームページ
3. 医師会報・ホームページ
4. 医療機関誌・ホームページ
5. 新聞
6. フリーペーパー（コミュニティ紙など）
7. 閲覧する手段がない
7. 閲覧したことがない
8. その他（ ）

問29 これまで地域医療に関する研修会や講演会に参加したことはありますか。「1.ある」の場合は回数をご記入ください。（1つに○）

\*「地域医療に関する研修会」とは、疾病の治療や予防、健康増進、リハビリテーション、高齢者障害者の在宅療養、妊婦の保健指導、子育て支援における医療活動全般に関する内容を指します。

1. ある
2. ない
- 「1.ある」の場合（ ）回

### 5. 住み慣れた地域で自分らしく、最後まで生活し続ける

問30 自宅での介護や看病において不満を感じたこと、または、そのような状況を想定した場合に不安を感じることを教えてください。（3つまで○）

1. 介護疲れや看病疲れによって、自身も体調を崩してしまうこと
2. 看取りの後、精神的に不調になること
3. 医師のサポートが不十分であること
4. 看護師のサポートが不十分であること
5. 介護職（ケアマネや介護福祉士など）のサポートが不十分であること
6. 医師・看護師・介護職以外の専門職のサポートが不十分であること
7. 自身の仕事が制約されることで、収入が減るなどの経済的負担が生じること
8. その他（ ）

問31 自宅での介護や看病において、サポートを受けられて良かった、またはサポートを受けたいものを教えてください。（2つまで○）

1. 自身の心のケア
2. 家族・親族からの支援
3. 医療職による相談
4. 介護職による相談
5. 介護や看病を休息する機会（短期の入院や入所）
6. その他（ ）

問32 お住いの地域の医療・福祉サービス事業所の所在地や機能について知っていますか。(1つに○)

\*医療・福祉サービス事業所とは、病院、診療所、ケアマネジャー事業所、地域包括支援センター、特別養護老人ホームなどを指します。

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 知っている    | 2. ある程度知っている | 3. 少しは知っている |
| 4. まったく知らない |              |             |

問33 がんの終末期医療について、あなたの希望を教えてください。(1つに○)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 痛みの緩和や精神的援助を受けながら自然な看取りをしてほしい |
| 2. 最期まで積極的な治療を受けたい               |
| 3. わからない                         |

※「終末期医療」とは、死期が近づいたときの医療のことです。

問34 最期を迎える場所について、あなたの希望を教えてください。(1つに○)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 病院       | 2. 自宅    |
| 3. 入所している施設 | 4. わからない |

問35 最期を迎えるにあたって、大切だと思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 納得できる場所で最期を迎えること        |
| 2. 治療の方針について、家族とよく話し合うこと   |
| 3. 家族の肉体的・精神的な負担や不安を軽減すること |
| 4. 家族の経済的な負担や不安を軽減すること     |
| 5. その他 ( )                 |

問36 エンディングノート(遺書や遺言とは別に、医療や介護、家族への思い等をしたためるもの)を作成したいと思いませんか。(1つに○)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. すでに作成している        | 2. 作成していないが、いずれ作成したい |
| 3. どちらともいえない        | 4. 作成したいとは思わない       |
| 5. エンディングノートを知らなかった |                      |

**6. 地域医療における荘内病院のあり方**

問 3 7 あなたが荘内病院のことについて、知っていることを教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 急患や重症な病気に対する治療や手術を行う急性期病院
2. 受診する場合は、基本的にかかりつけ医などからの紹介状が必要な診療料がある
3. 南庄内地域の救急搬送のほとんどを対応している
4. 妊産婦、新生児、小児医療に対応した地域周産期母子医療センターがある
5. さまざまな分野において、専門的な看護を行う認定看護師がいる
6. 正面玄関入口等に、病院ボランティアが配置されている
7. 緩和ケア病床がある
8. 国立がん研究センター東病院(千葉県柏市)と連携し、「がん相談外来」を実施している
9. その他 ( )

問 3 8 現在の荘内病院に関する総合的な満足度を教えてください。(1つに○)

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足    | 3. やや不満  |
| 4. とても不満 | 5. どちらでもない | 6. わからない |

問 3 9 問38で回答した満足度について、その理由を教えてください。(自由記載)


問 4 0 荘内病院が主催する各種事業（研修会、講演会、勉強会、出前講座、患者会など）参加したことがありますか。  
「1.ある」の場合は回数をご記入ください。（1つに○）

1.ある                      2.ない                      「1.ある」の場合（                      ）回

問 4 1 荘内病院が市民に親しまれる開かれた病院を実現するため、市民として荘内病院が主催する各種事業に協力（参加）していきたいと思いますか。（1つに○）

1. ぜひ協力(参加)したい                      2. 可能な限り協力(参加)したい  
3. 少しは協力(参加)したい                      4. まったく協力(参加)できない  
5. わからない

### 7. スムーズな在宅療養生活への移行

問 4 2 あなたは、ご自身のかかりつけ医はいますか。（1つに○）

1. いる                      2. いない                      3. 決めていないが、いると良いと思う



「2.いない」、「3.きめていないが、いると良いと思う」⇒ 12ページ 問 45へ

問 4 3 かかりつけ医を選ぶ理由（ポイント）は何ですか。（3つまで○）

1. 自宅から近いので  
2. 適切な検査・診療をしてもらえるので  
3. 診療の待ち時間が短いので  
4. 必要に応じて、高度な医療を受けられる医療機関を紹介してもらえるので  
5. 評判が良いので  
6. 安心・信頼できるので  
7. 以前受診したことがあるので  
8. 特に理由はない  
9. その他（                      ）

問 4 4 問 4 1 で「1. いる」を選んだ方にお聞きします。  
かかりつけ医について満足している点は何ですか。(3つまで○)

1. どんな病気でもまず親身になって診てくれる
2. 診療技術が優れている
3. 病気や治療についての説明が丁寧である
4. 自分や家族の病歴や健康状態についてよく理解してくれている
5. 必要に応じてすぐに専門医を紹介し、紹介先に適切に自分の診療情報を連携してくれる
6. 生活習慣病などの予防に向けたアドバイスをしてくれる
7. 定期健診や検診をしてくれる
8. 往診や訪問診療などの在宅医療に対応してくれる
9. 夜間や休日にも対応してくれる
10. 最期の看取りまで対応してくれる
11. こころの病気の相談に乗ってくれる
12. 特にない
13. その他 ( )

問 4 5 問 4 1 で「1. いる」を選んだ方にお聞きします。  
かかりつけ医について改善してほしい点は何ですか。(3つまで○)

1. どんな病気でもまず親身になって診てほしい
2. 診療技術を向上させてほしい
3. 病気や治療について丁寧に説明してほしい
4. 自分や家族の病歴や健康状態についてもっと理解してほしい
5. 必要に応じてすぐに専門医を紹介し、紹介先に適切に自分の診療情報を連携してほしい
6. 生活習慣病などの予防に向けたアドバイスをしてほしい
7. 定期健診や検診をしてほしい
8. 往診や訪問診療などの在宅医療に対応してほしい
9. 夜間や休日にも対応してほしい
10. 最期の看取りまで対応してほしい
11. こころの病気の相談に乗ってほしい
12. 特にない
13. その他 ( )



問46 庄内地域の医療機関等で実際使用しているICTツールを知っていますか。(当てはまるものすべてに○)

- |             |           |         |
|-------------|-----------|---------|
| 1. Net4U    | 2. Note4U |         |
| 3. ちょうかいネット | 4. 地域連携パス | 5. 知らない |
| 5. その他 (    |           | )       |

問47 ICTツール(Net4U、ちょうかいネット、地域連携パス等)のメリットを知っていますか。(当てはまるものすべてに○)

- |                |              |   |
|----------------|--------------|---|
| 1. 多職種による情報の共有 | 2. スムーズな情報伝達 |   |
| 3. 効率のよい医療の提供  | 4. 患者・家族の安心感 |   |
| 5. 知らない        | 6. その他 (     | ) |

問48 今、コロナ禍のもとで、オンライン診療(ITを用いた遠隔診療)が話題となっていますが、コロナ禍に限らず日頃からオンライン診療は必要だと思いませんか。(1つに○)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. ぜひ必要である          | 2. あれば便利である。 |
| 3. できれば直接会って診察を受けたい | 4. 必要ない      |

アンケートは以上です。  
ご協力ありがとうございました。

◆これまでの「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」議論の整理表  
(アンケートの体系とその設問)

資料3

	目指す姿	基本的な視点	市民アクション	目標	取組実施の素案	アンケートの設問
地域医療市民アクションプランの策定	1	地域医療の市民への理解と普及	市民アンケートを実施し、市民ニーズを把握する	・市民が地域医療に期待することを把握し、地域医療の課題の共有や解決策を検討する	・地域医療に関するアンケートやデータ収集を行い、市民の理解度や満足度について確認する	問22、問23、問24、問25、問26、問27
			市民による地域医療に関する積極的な情報発信	・広報誌を柔らかい内容にし、親しみやすくする ・若い世代にも地域医療への理解を広める	・既存の地域医療関連の広報誌にキャラクターやマスコットを入れ、一目でわかるようにする ・SNS等で情報発信する ・地域の保健衛生推進員や民生委員より地域医療について周知してもらう	問28
			地域医療に関する「市民勉強会」や「市民公開ワークショップ」の開催	・市民自身が自分の健康を守ることができるよう地域医療に関する知識を身につける ・地域において、地域医療について普及できる人材を育成する	・各町内会、自治会などの組織単位で、地域医療に関する市民勉強会を開催する ・市全体で、市民委員会での地域医療に関する取組について発表する「市民公開ワークショップ」を開催する	問29
地域医療市民勉強会のテーマ	3	地域での暮らし、慣れた地域で最後まで生活し続ける	訪問診療、訪問看護、介護サービス等、在宅療養支援体制の把握	・自分が住んでいる地域の医療・福祉サービスを知り、安心して暮らすことができる	・地域で開催される市民勉強会のなかで、医療・福祉資源マップ等を作成する	問30、問31、問32
			ACP(人生会議)の市民の理解と普及	・人生の最終段階の医療やケアについて、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する	・地域で開催される市民勉強会のなかで、エンディングノートを普及する	問33、問34、問35、問36
	5	地域医療のあり方	患者満足度の向上や開かれた荘内病院の実現	・荘内病院の強みを生かし、安心して受診できるような環境を整えることで、患者満足度の向上を図る	・救急医療、急性期医療を支えている荘内病院について、市民レベルで理解を深め、より良い在り方について考え、そのアイデアを荘内病院へ提言し、一緒に考える	問37、問38、問39
			市民団体による荘内病院応援団の結成	・荘内病院市民応援団を結成する(市民に親しまれる開かれた病院を実現するため、市民の声を活かしながら病院事業を推進していく)	・荘内病院の現状をよく理解してもらうとともに、荘内病院で開催される各種事業に参画する	問40、問41
	7	スムーズな在宅療養生活への移行	入院時、退院時の「入退院支援ルール」の理解と普及	・実際の入退院に関する基本的なルールを理解し、在宅療養が必要時に備える ・かかりつけ医制度の理解と普及を図る	・地域で開催される市民勉強会のなかで、かかりつけ医制度や入退院ルールについて理解する	問42、問43、問44、問45
			市民のICTツール(Net4U、地域連携パス、ちようかいネット等)の理解	・ちようかいネット・Net4U・地域連携パス等の内容(メリット等)を理解し、活用について検討する	・地域で開催される市民勉強会のなかで、ICTツールについて勉強する	問46、問47、問48

第7回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 所属団体に関するアンケート調査結果

R3.6.9

資料4

NO	所属団体名	役職	委員氏名	構成員数	調査可能対象者数	年代	お住いの地域	職種等	実施方法
1	からだ館 にこにこ倶楽部		キカガキ 北風 寸美	20	20	50～60代	鶴岡市内	主婦	郵送による回答
2	元鶴岡市私立幼稚園・認定こども園 連合会保護者会		キムラ 木村 博之	1000	調整中	30～40代	鶴岡市内	会社員等	検討中
3	元鶴岡市立荘内病院 ボランティア		サカモト 佐藤 明美	13	13	60～70代	鶴岡市内	無職	グループメール
4	鶴岡市公立保育園保護者会連絡 協議会	会長	サカモト 佐藤 和広	290	290	20～40代	鶴岡市内	会社員等	用紙配布
5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	代表取締役	サカモト 瀬尾 利加子	60	10	20～60代	旧市内	医療従事者、市民、どちらでも	グループメール、個別に依頼
6	元朝日地域保健委員会		ツダ 土田 三香子	36	36	40～60代	朝日地域	会社員、主婦、農業等	研修会時、郵送調査等
7	関根いきいき体操講座	代表	ハラダ 原田 藤四郎	15	10	70代	藤島地域 (関根)	農業等	定例会にて記載
8	もみじが丘(障害者施設)	施設長	ホンマ 本間 志保子	12	12	50～60代	温海地域	福祉関係者	職場で記入
9	山形県看護協会		ホンマ 本間 優子	7838	150	20～60代	庄内全域	医療従事者	用紙配布
10	つるおかオレンジサポートの会	代表	マサモト 真島 正博	38	38	50～80代	鶴岡市内	福祉関係者、看護師等の退職者	検討中
11	鶴岡市介護保険事業者連絡協議 会 居宅支援事業者部会	幹事	ミヅグチ 水口 英俊	177	177	20～60代	鶴岡市内	福祉関係者	グループメール
			合計	9499	756				

# 鶴岡市地域医療を考ふる市民委員会 3年ぶるケジメ

資料5

R3.6.9 鶴岡市地域医療を考ふる市民委員会

令和元年度

R1.12.19開催

第1回  
「市民委員会の主旨説明とスケジュールの確認」  
(地域医療に関する委員のディスカッション)

R2.3.16開催

第2回  
「地域医療における市内病院のあり方」  
(開かれた病院の実現、患者満足度の向上)

R2.7.27開催

「人口増加における地域医療と市民生活について考える」  
(第2回、第6夜 (E.R.T))

R2.11.13開催

「地域医療のあり方」  
(市民委員会の活動報告、市民生活と地域医療の関係について考える)

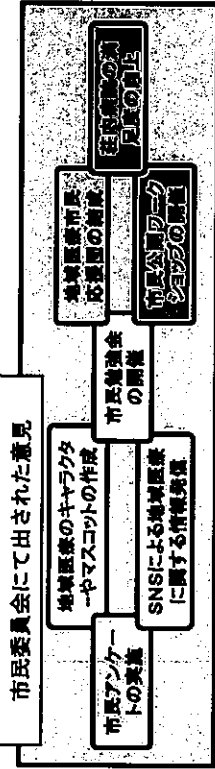
R3.2.12開催

第5回  
「市民周知や広報の手法を考える」  
「アンケートやデータ収集を実施する」  
「市民強化会のあり方」  
「市民強化会のあり方」

R3.3.25開催

「地域医療のあり方」  
(市民委員会の活動報告、市民生活と地域医療の関係について考える)

## これまでの市民委員会での議論のまとめ



市民委員会によるアクション

- ① 地域医療について市民周知や広報の実施(市民勉強会の活用等)
- ② 地域医療についての市民アンケートの実施
- ③ 地域医療市民アクションプランの策定



令和3年度の予定(案)

R3.6.9開催

第7回  
鶴岡市地域医療を考ふる市民委員会  
アンケートの実施について

R3.8月開催

第8回  
第8回鶴岡市地域医療を考ふる市民委員会  
市民勉強会の仕組みづくりについて

R3.11月開催

第9回鶴岡市地域医療を考ふる市民委員会  
市民強化会の仕組みづくりについて

R4.2月開催

第10回鶴岡市地域医療を考ふる市民委員会  
市民強化会の活動報告、市民生活と地域医療の関係について考える



令和3年度の目標

鶴岡市地域医療市民アクションプランの策定

市民勉強会の仕組みづくり

プレ市民アンケートの実施

## 地域医療の目指す姿

- <こころ通い合う地域医療> 市民と医療者が信頼し合い、適切な医療が受けられている
- ◎ <地域の基幹病院である市内病院> 市内病院が市民に信頼され、その使命を果たしている

・・・10年後の鶴岡市の“地域医療の未来像”・・・

＜こころ通り合い合う地域医療＞

市民と医療者が信頼し合い、適切な医療が受けられている

＜地域の基幹病院たる荘内病院＞

荘内病院が市民に信頼され、その使命を果たしている

**＜7年後のありたい姿＞**

- ・市民応援団などが立ち上がっている
- ・医療、介護の仕組みやルールと市民のニーズがかみ合っている。

満足度調査

**＜市民勉強会同士のネットワーク形成＞**

- ・地域医療のよき理解者を結びつける
- ・継続して参加する楽しみを得る

**＜4年後のありたい姿＞**

- ・地域医療連携の仕組みや個々の役割、制度を理解している市民が増えてきている。
- ・医療従事者とのコミュニケーションの輪が広がりは始めている。

理解度調査

**＜市民勉強会の実施・充実＞**

- ・地域医療のよき理解者を増やす
- ・医療従事者の参加促進
- ・市民と医療従事者が顔を合わせ、共に考える

**＜1年後のありたい姿＞**

- ・市民勉強会が実施され、地域医療を正しく理解する意識が市民に広まり始めている。

意識調査

**＜市民勉強会の立ち上げ＞**

- ・勉強会の講師役を増やす
- ・知らせたい内容を充実する

**市民アクションプラン  
(市民勉強会)の取組**

＜鶴岡市地域医療を考える市民委員会＞

【市民勉強会の仕組みづくり】

【プレアンケートの実施】

プレ  
アンケート

**鶴岡市地域医療市民アクションプランの策定**

**【市民委員会での意見】**

- ・自分たちが学んだことをみんなに知らせたい
- ・みんなの認識も知りたい

理解と普及の仕組みづくり 『市民勉強会のあり方検討』

現状・認識を知る 『市民アンケートの実施』

R3年度

R4年度

R7年度

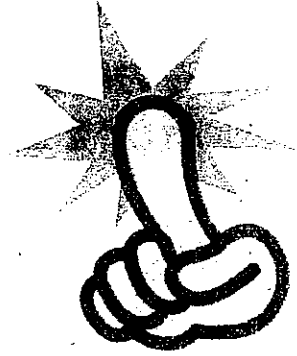
R10年度

R元々2年度

# アンケート調査 実施のポイント

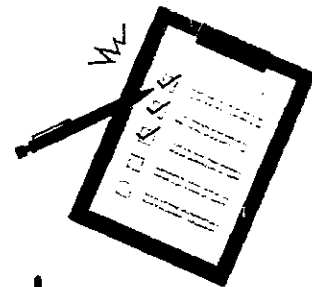


コーディネーター  
慶應義塾大学  
秋山美紀



## もくじ

- ・ アンケート調査とは
  - 長所と弱点など
- ・ アンケート調査で大切なポイント
  1. 目的を明確にする
  2. 意見を集めたい対象を代表する人たちから回答を集める
  3. 誰もが同じように理解でき、答えやすい質問用紙にする
  4. 回収率を上げる
  5. 結果の分析も考えておく



# アンケート調査とは？

- ・ あらかじめ用意された質問用紙（最近はインターネット上に質問項目を用意するウェブ調査も多い）に、回答者が「はい」「いいえ」あるいは「とてもそう思う～まったくそう思わない」のような何段階かの選択肢で、当てはまる選択肢を選んだりする調査。
- ・ その結果を分析することで、実態を把握したり、仮説\*を立てたり、仮説を検証したりする方法。



\*仮説とは、事柄の関係性についての推理のようなものです。たとえば、「S病院の催しによく参加している人はS病院への満足度が高いのでは」「子育て中の人には将来の医療への不安が大きいのでは」「郡部の人には市街地の人よりも在宅医療を希望する人の割合が大きいのでは」ような推理です

## 身近なところだと

### 政府が行う国政調査

- 国内の人口や世帯の状況を把握し、国や県、市町村の施策（議員定数の決定、地方交付税交付金の算定基準…等々）の基礎資料とするため。
- 日本に住んでいるすべての人と世帯が対象（外国人含む）。
- 5年ごとに実施（10月1日が国勢調査の日）。調査員が訪問し用紙を配布・回収または郵送。インターネット回答も可能。

### 病院が行う患者満足度調査

- 患者の意見や要望を聞いてサービスを改善するため。
- 調査日（ある1日とかある3日間とか）に入院していた患者、外来に来た患者にアンケート用紙を配布。
- 毎年1回実施する病院が多い。無記名式。回収箱に入れるか手渡し。

### 企業が行うマーケティング調査

- ターゲットとする消費者に、新商品を試してもらい、商品の改善や販売戦略を検討したりするため。

### イベント主催者が行うアンケート

- 参加者から、感想やフィードバックを収集し、次の企画に生かすため。

# アンケート調査の長所(メリット)

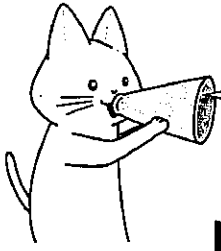
- ・ 多くの人の意見を一度に集められる
- ・ 回答選択肢を使うと、集計が簡単。
  - 結果の処理が客観的に行える
  - 数量化ができる→統計的な分析ができる
    - ・ 例：男女間や年齢階級間で、同じ質問に対する回答傾向が異なるかなど、比較ができる
    - ・ 定型化した質問を使えば、過去の結果との比較や、他地域との比較もできる
- ・ 一応、自由記載欄も設けることができる
  - こちらの想像を超える斬新な意見がもらえることもある
  - ただし、書くのが面倒だと答えてくれない
  - 長い記述は、内容分析やテキストマイニング等の分析手法が必要

# アンケート調査の弱点(デメリット)

- ・ 回答者の理解力や認知機能等によっては、質問を理解できないこともある。
- ・ 理由を深く訊ねることは難しい。
  - 深い理由はインタビュー調査の方が向いている
- ・ 一度始めたら、やり直しができない
  - この質問を入れておくべきだった…
  - 質問の表現がわかりにくかった…
  - 記入時間がかかりすぎて回答してもらえない…
- ・ 回答者に何かしらの意識が働き、誤った回答や防衛した回答をすることもある。
  - ちゃんと思いつけない
  - 特に理由なんてない
  - あまり答えたくない、答えづらい



# アンケート調査で大切なポイント



大事なポイント  
5つお話しします!

1. 目的を明確にする
2. 意見を集めたい対象を代表する人たちから回答を集める
3. 誰もが同じように理解でき、答えやすい質問用紙にする
4. 回収率を上げる
5. 結果の分析も考えておく

## 1. 目的を明確にする



- 誰の、何を知りたいのか？
- つまり、アンケートで得られる結果をどのように生かすのか？
  - 利用者の不満を訊く→サービスを改善する
  - サービスの認知を訊く→認知や知名度を上げる
- 目的が絞れないと、あれもこれも聞きたくなる→質問紙が長くなる→答えてくれない
- 本当に必要な質問項目なのか？
  - 不要な質問は削除する方が、回収率は上がる
  - そのためには「目的」を明確にする必要がある

## 2. 意見を集めたい対象を 代表する人々から回答を集める

その2



- 集めたいのが鶴岡市民の意見だとすると…
- 鶴岡市民を代表する人々（サンプル）とは
  - 全数調査なら考えなくても大丈夫
  - 一部を抜き出す調査（サンプル調査）の場合は、年齢層、性別、職業、家族構成…等々、偏っていないか、いろいろ考慮する必要がある

このピザという全体を代表する一切れは？



チーズばかり、エビばかり、トマトばかり、パン生地ばかりの部分は、ピザ全体を代表していない

## 2. 意見を集めたい対象を 代表する人々から回答を集める

- 集めたいのが鶴岡市民の意見だとすると…
- 鶴岡市民を代表するサンプルとは
  - 全数調査なら考えなくても大丈夫
  - 一部を抜き出す調査（サンプル調査）の場合は、年齢層、性別、職業、家族構成…等々が、偏っていないか、考慮する必要がある

Q. 偏ってしまうとなぜ困るのか？

- ごく一部の人の特別な意見の可能性がある
- 対策や優先順位を誤る可能性がある

目的である「誰の、何を」を明確にする！

## 2. 意見を集めたい対象を 代表する人々から回答を集める

- 集めたいのが、医療を日頃からよく利用している人々の意見だとすると…
  - 市内の全医療機関で調査をすれば一網打尽
- 集めたいのが、子育て中の若い世代の意見だとすると…
  - 市内の全保育園、全幼稚園、全小学校に協力してもらい、保護者を対象に調査すれば一網打尽

目的である「誰の、何を」を明確にする！  
実施可能性（予算や期間）なども検討する。

### 3. 誰もが同じように理解でき、 答えやすい質問用紙にする

その3



#### 注意のポイント

- 質問の意味は誰でも理解できるか？人によって解釈は変わらないか？
- 回答の選択肢の意味は誰でも理解できるか？
- 本当は正解があるのに「わからない」を選ばないようにする工夫も大事

#### その他の注意点

- 1つの質問で2種類以上のことを聞いていないか？
- 回答数を明示しているか？
- 言葉の定義があいまいでないか？

## ミニクイズ： どこが問題でしょう？

質問1) あなたは、髪をとかしたり、化粧、歯磨き、爪切り、髭剃りなどを自分でできますか？

選択肢: 1. できる 2. 手助けが必要 3. できない

質問2) お子さんのおやつのご選択はどうしていますか？

選択肢: 1. 母親または大人が選んで買う 2. 子供自身が選んで買う 3. 家で作る

質問3) 最近、健康教室に参加されたことがありますか？

選択肢: 1. はい 2. いいえ

### 3. 誰もが同じように理解でき、答えやすい質問用紙にする

回答の種類や選択肢は良く考えよう!

#### • 選択式の回答

- 単一回答:当てはまるもの1つを選ぶ
- 複数回答:どのように選ばせるか?
  - 無制限複数 (あてはまるものすべてに○をつけて下さい)
  - 制限複数 (該当するものを3つ[まで]選んで下さい)
  - 多項選択 (最も重要なものを一つ選んで下さい)
  - 完全順位 (重要な順にその順位を記入して下さい)
  - 一部順位 (該当するものを3つ選びその順位を記入して下さい)

#### • 自由な回答欄

- 回答者からすると面倒に感じることが多い。こちらが想定しない意見を書いてくれる可能性はある。

### 3. 誰もが同じように理解でき、答えやすい質問用紙にする

質問の順序も答えやすさに影響する

- 表紙の印象は大事
- 一般的で答えやすい質問から始める
- 重要な質問は、あまり後ろにもってこない
- 相互に関連ある質問をまとめる
- 質問全体に回答しやすい流れをつくる

おためしで少人数の人に実際に調査をやってみると、改善ができます! (パイロット調査)

## 4. 回収率を上げる

その4



回収率が低いと何が問題なのか？

- ミニクイズ：対象者の回答をより正しく表しているデータはどっち？
  - 10000人に配布して1000人が回答（回収率10%）
  - 1000人に配布して900人が回答（回収率90%）
- 回収率が低いと、回答者が偏ってしまう可能性が高くなる＝測りたいものを測れていない
- さらに数が少ないと統計解析も正しくできない

## 4. 回収率を上げる

回収率を上げるにはどうしたらいいのか？

- 答えやすい質問紙にする。
  - 質問の順番や項目数など、ポイント3の内容。
- 対象者に合わせた方法で回収する
  - 高齢者→郵送法、民生委員の訪問回収など
  - 若年層→インターネット（スマホOK）
- リマインド（催促）を送る
- 重要な調査であることを、広報する
- 「誰が」実施するアンケートかも回収率に影響する

## 5. 結果の分析も考えておく

その5



- 分析によって、いろいろなことがわかります。
  - 単純集計＝回答した人数のうち、各回答を選んだ人の数と割合を示す。
  - クロス集計＝男女別、年齢層別、参加回数別などの分析軸で、回答割合がどう異なるかを示す。
- 調査の設計段階で考えておくこと
  - 自由回答はどのように集計し、分析するのか？
  - 回答が偏っている（つまり本来知りたい対象者を反映していない）場合に、重みづけを行うか？どのように？
- 仮説（推理）があると、分析のイメージもわきやすい。

### まとめ

- アンケートには、強みと弱みがある
  - アンケートが集めやすい情報と、集めにくい情報がある。
- 「目的」を明確にすることがもっとも大事
  - 「何のために」があって初めて、「誰の」「どのような」情報や意見が必要なのかが決まる。
- 意見を集めたい人々からちゃんと意見を集める
  - 全体像を表す人たちに調査をする
  - どのように抽出するのか？→実施可能性（費用や期間等）も関係する
- 答えやすい質問用紙になっているか。
- 回収率を上げることも大事
  - そのための工夫はどのようにするか？
- 分析のイメージを持っているとさらによい。

